



亀中だより

No.22 令和7年10月3日 文責:岡田



For The Students!

「令和7年度全国学力・学習状況調査」の結果が公表されました。本校でも結果を分析して、授業改善等に役立てていきます。学校だよりでは、本号において「みえスタディチェック」の結果とともに学習面の分析結果、次号で生徒質問紙から見えてくる結果をお知らせさせていただきます。

令和7年度 学力調査の結果より

R7.4月実施

この調査は、生徒の学力学習状況を把握し、授業や生活習慣の改善に役立てることを目的としています。調査により測定できるのは学力の一部ではありますが、本校生徒の「確かな学力」の向上につながってまいります。本校の調査結果と状況分析、今後の取組等について記載いたします。学校・家庭・地域で共有することから、本校における今後の学力向上と定着、授業改善や生活・学習習慣の改善を図っていききたいと思いますので、よろしくお願いします。



全国学力・学習状況調査の結果

教科	本校	三重県	県との差	全国	全国との差
国語(%)	51	53	—2	54.3	—3.3
数学(%)	43	47	—4	48.3	—5.3
理科	48.9	49.8	—0.9	50.3	—1.4

みえスタディチェックの結果

	1 年生			2 年生		
教科	本校	三重県	県との差	本校	三重県	県との差
国語(%)	52.8	55.6	—2.8	47.1	50.5	—3.4
数学(%)	52.6	59.9	—7.3	44.3	52.3	—8
理科(%)	46.7	55.1	—8.4	42.3	44.9	—2.6

全国学力学習状況調査、みえスタディチェックともに、国語、数学、理科の3教科すべてにおいて県、全国を下回る結果でした。国語においては、全国調査の結果として「話す・聞く」「書く」「読む」それぞれの領域で全国との差はわずかではあるものの縮まっていました。しかし、数学では「数と式」「図形」「関数」「データの活用」の各領域で「図形」と「関数」においては、わずかながら全国との差が縮まっているものの、「数と式」と「データの活用」は全国との差が大きく広がる結果がありました。次ページは各教科の分析と取組についてです。

各教科の分析と今後の取り組みについて

<国 語>

自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫すること、表記を確かめて文章を整えることなど「書く」問題に課題が見られる。しかし、「記述問題にも最後まで解答を書こうと努力した」と回答した生徒が7割近くおり、表現の仕方や解き方が分かれば平均値は上がると考える。そのため、授業の中で、問題の解き方や解答の書き方について指導することで、記述問題に対応できる力をはぐくみたいと考えている。また、単元の終わりに文章でまとめる活動、課題作文を定期考査に出題する等、文章を「書く」経験を重ねることで表現する力を育みたいと考えている。「書く」ことに必要な語句、文法については、小テストやタブレットを使用した問題に取り組んでいる。

<数 学>

知識を問う問題に比べて数学的表現を使い、説明することに課題が見られた。また、質問より「数学の勉強は好きですか」「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出た時に役に立つと思いますか」という項目をはじめ、数学に関して肯定的に回答する生徒が少ない。このことから、知識理解の定着に加えて、その知識を活用して物事を数学的に説明する課題に対して意欲的に取り組み、解決していく力が必要である。そのために、単元終わりに基礎知識の定着の確認に加えて、意図的に数学的表現を使った説明問題を授業で扱い、思考力の部分にも着目し、単元のまとめに取り組んでいく。

<理 科>

知識を問う問題には、ある程度正解できているが、知識をもとにほかの物事を関連付けて考察することを苦手としている傾向がある。また、実験の結果から物事を考察することや問題を解決しようとするのが苦手であり、図やデータを見て活用することや分析することも苦手としている様子がある。また、生徒質問紙からは、理科への興味関心や学習意欲は全国と比較しても高いものとなっているが、理科の知識を日常的な生活や身の回りと結び付けて考えることは苦手としているようである。このことから、授業において知識を学ぶだけでなく、その知識を活用する場面を設定していきたい。また、実験結果から考察する場面や科学的にとらえる視点を見い出す考察では図やグラフなどを用いてまとめる場面を設定する。

亀山中学校文化祭

10月24日開催！



文化祭は今年も亀山市文化会館をお借りして開催します。来週からいよいよ本格的に合唱の練習がスタートします。校内に各クラスの歌声が響き渡ることが今から楽しみです。当日もそうですが、この日々の歌声が徐々に高まっていく様子、クラスがまとまっていく過程が、文化祭の醍醐味です。当日は会場のキャパシティもあり、保護者の皆様の入場にはいくつかの制限がありますが、ぜひ現地でご参観ください。詳細につきましては、9月26日付の「令和7年度文化祭の開催について(ご案内)」をご覧ください。